

# 売れる米づくり技術情報No.1

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和7年2月21日  
J A えちご中越  
なんかん北営農センター

**良質米づくりのスタートは、田植に合わせた適期播種と土づくりから！  
異常気象に備えた丈夫な稲づくりで、品質・収量の向上を目指しましょう！**

## 1. 床土・覆土の準備 ※稚苗一箱当たりの準備例 ※ナエファインはこだわり米使用不可

	資材名	一箱当りの 使用量	使用方法
床土	床土	4L	参考) ニューラミックス、ホーネンス培土で2.8kg
	稚苗苗代配合	30~40g	
覆土	覆土	1L	参考) 嵐北床土、育苗床土で1~1.2kg
病害 対策	ダコニール粉剤・ダコニール1000、ナエファイン粉剤・ナエファインフロアブル、カスミン粒剤・カスミン液剤 ※詳細は別紙農薬使用方法をご確認ください。		

## 2. 種籾の準備から苗管理まで ※作業めやすは稚苗加温で5月10日移植の場合

① 塩水選			
充実した種もみを選び、病害のない種子を選別します。			
めやす 4/7(1日) 水洗い・水切り	種類	比重	水10Lに溶かす食塩の量
	うるち	1.13	1.9kg
	もち	1.08	1.1kg

◎令和7年播種用のコシヒカリBLの種子は休眠がやや深いと推定され、  
発芽揃いをよくするため浸種水温を12℃、積算温度120℃をめやすとし  
て浸種を行いましょ。

② 浸種			
発芽を揃えるためには、浸種開始時の水温と、種籾に充分吸水させることが重要！			
めやす 4/8 (約10日)	水量	水温	浸種期間 (水温×浸種日数)
		種籾1kg : 水3.5L	10~15℃ (10℃以下は厳禁) ☆コシヒカリは12℃
	要点	※詳細は別紙農薬使用方法をご確認ください。	

③ 催芽		
加温により発芽をそろえます。		
めやす 4/18~ (1~2日)	温度	注意事項
		30℃



④ 播種			
健苗育成のため、薄まきにしましょう。			
めやす 4/20~	一箱当り播種量(稚苗)	10a当たり必要箱数のめやす	
		乾もみ : 130~140g 催芽もみ : 160~175g (つきあかりは乾籾で160g)	50株植え : 15~16箱
		60株植え : 17~18箱	こしいぶき、ゆきん子舞、 つきあかり、あきだわら

## 3. テクリードCフロアブルもしくはタフブロックを使用する場合の種子消毒

※「タフブロック」はこだわり米指定薬剤です。

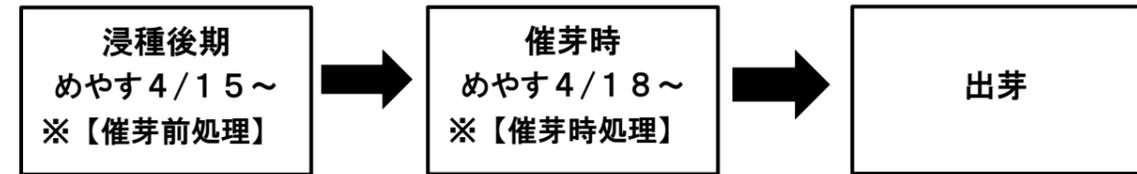
消毒・風乾  
めやす 4/8~  
※詳細は別紙農薬使用方法をご確認ください。

塗沫法      浸漬法

テクリードCフロアブル希釈早見表				
種籾量		4kg	8kg	10kg
浸漬法 (200倍)	水量	8L	16L	20L
	薬量	40ml	80ml	100ml

☆「タフブロック」を使用した種子消毒

温湯消毒との体系処理により、安定した防除効果が期待できます。



※浸種後期～出芽についての詳細は別紙農薬使用方法をご確認ください。

農薬登録状況確認日 令和7年2月13日

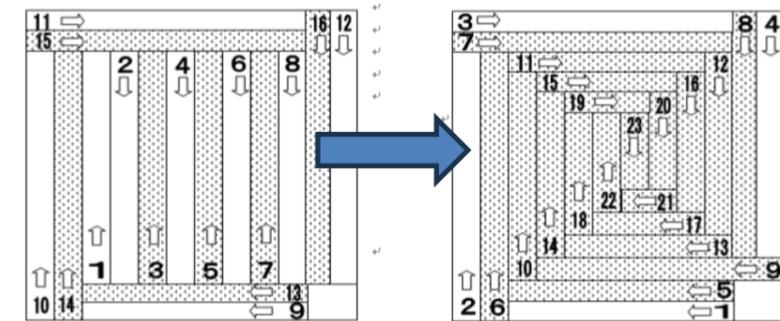
## 4. 土づくりと根域確保で、気象変動に負けない稲を目指しましょう！

### (1) 根域の確保【作土深の目標 15cm】

- ・作土が浅いと根が地上近くに集中し、高・低温や、フェーンによる乾燥の影響を受けやすくなるため、十分な作土を確保しましょう。
- ・急激な深耕は初期生育低下を招く恐れがあるので毎年 1~2cm ずつ掘り下げ、最終的に 15cm に達するようにします。粘質土壌で機械作業の負担が大きい場合は、無理な深耕を控えましょう。

### ・回り耕ちによる作土深 15cm 確保

- ① 現有トラクターで作土深 15cm を確保！  
(チェーンケースを常に耕耘済側)
- ② トラクター回転部の枕地を傷めずにコンバイン収穫時の地耐力確保！



◎良質米は土づくりから！



**(2) 土づくり資材と改良資材の施用**

- 土壌中のケイ酸は毎年の収穫で失われていくため、土づくり資材による補給が必要です。基肥（春散布）でのケイ酸施用は、初期生育の確保、総粒数の増加、病害虫の抵抗性向上に効果的です。

**土づくり肥料に含まれる成分と役割**

ケイ酸	① 稲の組織が強化され、耐倒伏性を向上させる。 ② 稲体の強化・抗菌物質の生成促進により、病害虫への抵抗性を向上させる。 ③ 光合成促進に伴い、幼穂形成期～出穂期の炭水化物生成量が増加することで吸収窒素当たりの粒数が増加し、増収と玄米タンパク質の低下に寄与する。 ④ 生育後期まで光合成を促進し、籾に対して持続的に炭水化物が供給され、登熟歩合を向上させる。また、登熟が向上することで白未熟粒の発生を軽減する。
リン酸	⑤ 細胞分裂、エネルギー伝達との関係が深く、発根、分けつ、開花などに関与している。不足すると分けつ、根の発達が阻害される。
苦土	• 葉緑体の構成要素として、光合成に関与する。米の食味にはプラスに働く。
鉄	• 水田の作付け期間中に発生する硫化水素を無害化し、根の周囲に被膜を形成することで、硫化水素や有機酸などの有害物質から根を守る。
マンガン	• 葉緑素の生成、光合成、ビタミンCの合成などに関与している。粘土質の少ない土壌では下層に溶脱しやすく、欠乏するとごま葉枯れ病が発生しやすい。
アルカリ	• 土壌pHの低下を抑え、稲わらなど有機物の分解を促進する。

**おすすめ土づくり肥料**

<b>ニュー米スター 15kg規格</b>	10a当たり標準施用量30kg 保証成分(%)リン酸2、アルカリ分32、ケイ酸32
◎従来品の「越後の輝きソイル米スター」からの切り替え品目です。従来品と同等のケイ酸保証成分で、より低コストでの土づくりが可能となっております。ケイ酸を中心とした総合的土づくり肥料で、管内全域での施用に適しています。	
<b>みつパワー 20kg規格</b>	10a当たり標準施用量60～120kg 保証成分(%)可溶性マンガン10
◎マンガンを含む総合的な土づくり肥料。「ごま葉枯病」対策としておすすめです。 含有成分分析例(%)：ケイ酸25.1、苦土21.7、鉄1.7	
<b>苦土重焼燐30 20kg規格</b>	10a当たり標準施用量20～40kg 保証成分(%)リン酸30(内水溶性リン酸12)、苦土4.5
◎稲の生育初期に必要な早効き、中後期に必要な遅効き両方のりん酸を含み、りん酸が不足している圃場への散布におすすめです。含有成分分析例(%)：ケイ酸9、石灰17、鉄2	

●ワキ対策～おすすめ土壌資材のご紹介～

**田んぼの鉄人 15kg規格（粒状）**

昨年（2024年）、特にコシヒカリを中心に倒伏した圃場が多く、また、刈取後の気温が高かったことから田んぼに厄介な二番穂（ひこばえ）が残っています。低温になれば一旦は枯れますが、分解されないとワキ・表土剥離・藻類の発生や未熟残渣による生育停滞を起こして、収量と品質に影響を及ぼします。対策として「田んぼの鉄人」（粒状）の散布をお勧めします。

**注！**表土剥離・アオミドロ・アミミドロは田植え後に処理する、水田除草剤の処理層を壊してしまうため、雑草の発生要因にもなりますので注意が必要です。

**【使用方法】**

耕起前及び田植後7日以降・・・10a当たり15kg（1袋）※流し込みは10a当たり10kg

**5. 新品種『新潟135号』（系統名）のご紹介**

◎新潟県では、高温耐性コシヒカリ BL をはじめとした水稻の品種の開発を進めておりますが、このたび、高温耐性品種のラインナップ化に向けた取組として、令和8年から極早生品種の一般栽培を開始する計画です。品種名は令和7年に命名する予定で、令和8年の一般栽培は400haでの栽培を予定しています。品種特性は、下記のとおりです。

「新潟135号」評価項目

区分	極早生
草型	偏穂重型
高温耐性	強
出穂機	7月19日
成熟期	8月21日
収量性	596 kg/10a
耐倒伏性	やや強
※病害虫	中、やや弱
食味	上中

※病害虫は葉いもち、穂いもち耐性「上中」

**『新潟135号の特徴』**

- ☑高温耐性が「強」（「新之助」並の強さ）
- ☑耐倒伏性が「やや強」
- ☑玄米品質、食味ともに「こしいぶき以上」

※令和7年度は燕市にて移植栽培と直播栽培の2圃場で試験栽培をおこなう予定です。

**6. 今後1ヶ月の気象予報**



先の天気を予測して作業をおこないましょう！

北陸地方 1か月予報 (02/15～03/14)		
2025年02月13日14時30分 新潟地方気象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり低くなる見込みです。また、期間の前半は降雪量がかなり多くなる可能性があります。	
向こう1か月 02/15～03/14	天候	平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、低い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。
1週目 02/15～02/21	降雪量	降雪量は、多い確率50%です。
	気温	1週目は、低い確率60%です。
2週目 02/22～02/28	気温	2週目は、低い確率60%です。



で稲作・米穀情報の発信をやっています！

**方法① ID 検索**

[友達追加]>[検索]で  
**@287vzxcx**を入力

**方法② QRコードを読み取る**

[友達追加]>[QRコード]で、  
右のQRコードを読み取る。



**【お問い合わせ先】**

なんかん北営農センター米穀課：0256-47-1429